

幕末の西本願寺と月性

ゲスト講師 岩田真美 さん 龍谷大学特任准教授、真宗教学史
ホスト著者 上田純子 さん 『月性を読む』編著者、近世史

日時: 2024(令和6)年3月3日(日)

午後1時30分 ~ 詩吟(地元有志) / 剣舞(地元小学生)

午後2時00分 ~ ゲスト講演

午後3時00分 ~ ゲスト&ホスト対談(~3時30分)

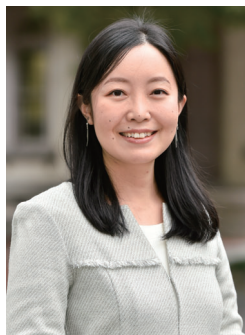
会場: 妙円寺本堂(柳井市遠崎729)

周囲に駐車場あり、JR山陽本線「柳井港」駅から徒歩約15分

聴講: 定員先着130名様

講師からのメッセージ

月性の思想や行動は、危機的な状況にあった幕末期の西本願寺教団にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。真宗僧としての月性に注目しながら、その思想的意義をみなさんと一緒に考えたいと思います。答えは一つではないかもしれませんが、多様な顔を持つ月性の魅力に迫りたいと思います。



いわた・まみさんは、1980年生まれ。龍谷大学大学院文学研究科博士課程修了。博士(文学)。龍谷大学文学部特任講師を経て現在、特任准教授。龍谷大学ジェンダーと宗教研究センター長。主な著書に『カミとホトケの幕末維新一交錯する宗教世界』(共編著、法藏館・2018年)など。

主な論文に「幕末期西本願寺と『仏法護国論』をめぐって一月性「護法意見封事」との相違について」(『仏教史学研究』53巻2号、2011年)など。専門は真宗教学史。近年はジェンダーやSDGsなど現代的課題で果たすべき仏教の役割について、研究や実践活動を展開中。



うえだ・じゅんこさんは、1968年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士(文学)。主な著書に『幕末維新のリアルー変革の時代を読み解く7章』(編著、吉川弘文館・2018年)など。主な論文に「儒学と真宗説法」(塩出浩之編『公論と交際の東

アジア近代』東京大学出版会・2016年)など。専門は日本近世史。萩藩の政治史や幕末社会における知識人についての研究。愛甲弘志さんとの共編著として『月性を読むー幕末「海防僧」の漢詩と建白書』(右文書院・2023年、別掲2面)を刊行。



主催: 公益財団法人 僧月性顕彰会

<https://gessho.net>

後援: 柳井市、柳井市教育委員会、柳井文化連盟、大島商工会・観光協会、月性立志の会

問い合わせ: 公益財団法人 僧月性顕彰会(柳井市役所大島出張所内) 柳井市大島1500

事務局 濱岡、池本、神岡(TEL:0820-45-2211)